



法テラス江差通信

●お問い合わせ 法テラス江差法律事務所 (第130号)
Tel 050・3383・5563

遺言書について

法テラス江差法律事務所に赴任して2か月が経ちました。雪かき、ホワイトアウトの中での運転、水抜きなど、初めてづくしの日々。地域の皆さまにあなたがたく迎えていただきこの地で仕事ができる喜びを感じております。

今回は遺言についてお話ししたいと思います。

人が死亡した場合、遺産は通常法律で決められた割合で平等に分けられます。もし自分の考えのとおり遺産が分けられることを望むのであれば、生前に遺言書を作成することができます。そうすることで、親族間の紛争を未然に防止できます。また相続人がいない場合には、遺産は原則として国庫に帰属します。お世話になった方に財産を分けたいときには遺言により遺贈することが可能です。

ただ、単に紙に財産分与の内容を書いただけでは「遺言」とはいえません。遺言は法律で形式が決まっております。この決まりを守っていないと「遺言」とは認められないのです。

遺言には、大きく分けて自分で書く自筆証書遺言、公証人の関与のもと作成する公正証書遺言、遺言内容を秘密にしたい場合に自作した遺言書を公正役場で記録してもらう秘密証書遺言があります。

公正証書遺言と秘密証書遺言は、公

証役場を利用するため後のトラブルは生じにくいですが、費用がかかります。

自筆証書遺言は、費用はかかりませんが、全文自筆で書かなければなりませんし、書き方を誤ると無効になる可能性があります。また自筆証書遺言書は自宅で保管されることが多いですが、紛失や相続人によって廃棄されてしまうおそれもあります。そこで、令和2年7月法務局に預けることができる自筆証書遺言書保管制度が創設されました。法務局が保管することにより相続手続が簡略化されたり、事前にトラブルを防ぐことができるようになります。自筆証書遺言をお考えの方はこの保管制度の利用を検討されてはいかがでしょうか。

このように遺言の作成には、弁護士などの専門家の助力が必要といえます。遺言書の作成を考えておられる方は、まずはご相談ください。もちろん遺言以外のご相談もお受けしています。

ご相談のご予約は
050・3383・5563まで
お願いいたします。
(法テラス江差 弁護士 南 七重)



道立江差病院だより ☎52-0036

外来診療体制・3月の診療予定

整形外科	午前 月から金曜日(午前11時まで)
循環器内科	午前 月から金曜日 午後 月と金曜日
総合診療内科 (消化器内科も併せて診療します)	午前 月・火・水・金曜日(午前11時までの受付) (なお、月曜日は午前10時から診療) 午後 金曜日 ※ 金曜日は、出張医師対応のため、消化器内科の診療は行いません。 ※ 毎週水曜日の午後と木曜日の午前は完全予約制の検査実施日となっております。
消化器内科 (札幌大派遺医)	(初診及び再診) 1日(月)、15日(月)、29日(月)午後 (再診のみ)※ 完全予約制 午前10時まで受付 2日(火)、16日(火)、30日(火) 午前11時まで受付 8日(月)、22日(月)
呼吸器内科	午前 金曜日 午後 木曜日
神経内科	午前 5日(金)、19日(金)
総合診療(外科)	午前 火から木曜日
外科	午前 12日(金)、26日(金) (午前11時までの受付)
小児科	午前 月から金曜日 午後 火と木曜日(午後3時～午後4時の受付)
泌尿器科	午前 月から金曜日 午後 木曜日
精神科	午前 月から金曜日(初診は完全予約制)
産婦人科	午前 1日(月)、2日(火)、15日(月)、16日(火)、29日(月)、30日(火) 午後 1日(月)、15日(月)、29日(月)
耳鼻咽喉科	午前 2日(火)、3日(水)、10日(水)、11日(木)、16日(火)、17日(水)、 24日(水)、25日(木)、30日(火)、31日(水)(午前11時までの受付) 午後 10日(水)、24日(水)
眼科	午前 4日(木)、25日(木) (予約以外の初診受付11時まで) 午後 3日(水)、17日(水)、24日(水) コンタクトレンズを希望する患者様へ 当院で以前調整した患者様のみ対応いたします。
皮膚科	午前 火曜日

診療科によって、曜日によって担当医が変わります。御確認ください。

診療日は予定であり変更になる場合もあります。事前に病院にご確認の上、受診してください。
※診療受付時間
午前・・・8時00分～11時00分 (初診の方は、9時00分～)
午後・・・13時00分～14時30分
予約受付時間(定期患者のみ)13時～16時

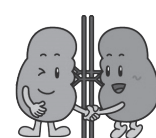
外来看護師からお知らせ 第4弾

糖尿病の合併症は「しめじ」もあれば「えのき」もある。血糖コントロールが悪い場合は合併症がでてきます。

合併症予防の為に目標値は
HbA1c 7.0未満です。

合併症がでないよう血糖をコントロールして、元気に過ごせる毎日をおくりましょう。

- し 神経
- め 目
- じ 腎臓
- 手のしびれ
足のしびれ
- 網膜症
視力低下
- 尿が出なくなる
透析になるかも



～『血糖コントロール』がとても大切です～
心配なことがあれば主治医や看護師にご相談下さい。

今回は「えのき」をご紹介します！



外来看護師